学習指導案

１　単元名　直接原価計算の基礎

２　単元の目標

直接限界計算の目的と損益計算書の作成及び短期利益計画について理解する。また、直接原価計算の有用性について理解する。

３　単元の指導計画及び評価計画

　○ 単元の評価規準

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 関心・意欲・態度 | 思考・判断・表現 | 技能 | 知識・理解 |
| ①直接原価計算と全部原価計算による損益計算書を比較し、その違いからメリットについて考察しようとしている。②原価予測の手法を利用してどのように原価が変化するのか考察しようとしている。 | ①売上高の増減による原価と利益の変化を分析し、その結果を表現している。 | ①原価を変動費と固定費に分け、営業利益を算出している。②損益分岐点の意味を理解し、損益分岐図表を作成している。 | ①原価要素を変動費と固定費に分け、その違いについて理解している。 |

　○ 単元の指導計画及び評価計画（６時間）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 時 | 学　習　内　容 | 評価の観点 | 評価規準（評価方法） |
| 関 | 思 | 技 | 知 |
| １ | 利益計画の必要性について理解し、直接原価計算を行う意味を知る。直接原価計算を行うため、原価要素を変動費と固定費に分ける。 |  |  |  | ① | ・原価要素を変動費と固定費に分け、その違いについて理解している。（ワークシート） |
| ２ | 直接原価計算について、利益計算のための手続きを理解する。 |  |  | ① |  | ・原価を変動費と固定費に分け、営業利益を算出している。（ワークシート） |
| ３(実践１) | 直接原価計算と全部原価計算それぞれの損益計算書を比較し、直接原価計算を行うメリットを考える。 | ① |  |  |  | ・直接原価計算と全部原価計算による損益計算書を比較し、その違いからメリットについて考察しようとしている。（ワークシート） |
| ４(実践２) | ＣＶＰ分析について理解する。売上高と変動費に着目し、目標とする利益を得るために必要な販売数量を考える。 |  | ① |  |  | ・売上高の増減による原価と利益の変化を分析し、その結果を表現している。（ワークシート） |
| ５本時 | 損益分岐点について理解し、損益分岐図表を作成する。 |  |  | ② |  | ・損益分岐点の意味を理解し、損益分岐図表を作成している。（ワークシート） |
| ６ | 原価予測の方法の一つである高低点法について理解する。高低点法により、予測される原価がどのように変化するか考えをまとめる。 | ② |  |  |  | ・原価予測の手法を利用してどのように原価が変化するのか考察しようとしている。（観察） |

４　実践

　(1) 実践１

ア　本時のねらい

直接原価計算と全部原価計算による損益計算書を比較し、その違いからメリットについて考察し、考えをまとめる。

イ　本時の展開（第３時）

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 段階 | 学習内容 | 学習活動 | 指導上の留意点 | 評価規準（評価方法） |
| 導入10分 | ・前時の復習 | ・直接原価計算による損益計算書を作成する。 |  |  |
| 展開30分 | ・直接原価計算の必要性・グループで意見の共有・直接原価計算と全部原価計算の損益計算書を比較・グループで意見の共有・グループごとに発表 | ・簡単な問題により作成した損益計算書をもとに、なぜ直接原価計算が必要かを考える。・各自が考えた重要性についてグループで意見を共有する。・直接原価計算と全部原価計算による損益計算書を比較させ、その違いを考える。・各自が考えた違いについてグループで意見を共有する。・グループごとに代表生徒を決め、板書および発表を行う。 | ・直接原価計算の特徴を振り返り、変動費を中心に計算を行っていることに気付かせる。・直接原価計算と全部原価計算の損益計算書を比較させる際、記載されている内容の違いに着目できるような問いかけを行う。・売上高、変動費、貢献利益は比例して増減していることに着目できるような問いかけを行う。 | 【関心・意欲・態度】・直接原価計算と全部原価計算による損益計算書を比較し、その違いからメリットについて考察しようとしている。（ワークシート） |
| まとめ10分 | ・本時の復習 | ・本時の学習内容をまとめる。 |  |  |

　(2) 実践２

ア　本時のねらい

売上高の増減による原価と利益の変化を分析し、その結果について考察し、考えをまとめる。

イ　本時の展開（第４時）

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 段階 | 学習内容 | 学習活動 | 指導上の留意点 | 評価規準（評価方法） |
| 導入10分 | ・前時の復習 | ・直接原価計算による損益計算書を作成する。 |  |  |
| 展開35分 | ・損益計算書の確認・目標営業利益を達成するための利益計画の作成・グループごとに発表 | ・各自が作成した損益計算書についてグループで確認する。・営業利益を達成するための損益計算書を作成する。・グループごとに代表者を決め発表する。 | ・変動費と固定費の分類が適切にできているか机間指導を行う。・グループごとに異なる条件で貢献利益率を示す。・目標となる営業利益を達成するために、なぜそのような回答となったのか根拠を考えるように伝える。・発表する際、なぜそのような考えに至ったか根拠を含めてまとめるように伝える。 | 【思考・判断・表現】・売上高の増減による原価と利益の変化を分析し、その結果を表現している。（ワークシート） |
| まとめ5分 | ・本時の復習 | ・本時の学習内容をまとめる。 |  |  |